

事業シート(令和6年度決算)

事業名	20400 秘書事務費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント				
					項	1	総務管理費		分野別		政策分野			
					目	4	秘書費			施策分野				
担当課	市長公室 秘書交流課	内線	2406											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市長、副市長のトップセールスや要望活動により、市の発展や活性化を図る。 ・市長、副市長の市民等との面談、各種団体の行事等への出席により、多くの要望や意見を収集し、市政に反映させる。 ・市長、副市長を含む幹部会等の庁内会議の開催により、円滑な行財政運営を図る。	概要	市長、副市長の適正なスケジュール調整と管理による ・トップセールス、要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		18,696	14,266	17,747	17,747	14,131	△ 135
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他()						
一般財源		18,696	14,266	17,747	17,747	14,131	△ 135
新規・拡充	主な事業内容						
	秘書業務及び交際、渉外等に関する事務	18,696	14,266	17,747	17,747	14,131	△ 135
	東海市長会通常総会の開催						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催などのための適正なスケジュール調整と管理 ・面談人数(年間) 1,962人 ・副市長の就・退任に伴う事務引継ぎの実施、各種機関等への訪問
評価等	・市民・各種団体からの要望や意見、情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内(職員)に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・市長・副市長の円滑な日程調整を行うとともに、政策秘書の視点によるトップマネジメントの補佐を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・要望活動の実施 ・市民等との面談、各種団体の行事等への出席 ・庁内会議等の開催などのための適正なスケジュール調整と管理 ・面談人数(年間) 1,731人 ・岐阜県副市長会議を当市で開催
評価等	・市民・各種団体からの要望や意見、情報とともに、自治体経営のトップの考えを組織内(職員)に的確に周知し、迅速かつ効果的に市政に反映させる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・市長・副市長の円滑な日程調整を行うとともに、政策秘書の視点によるトップマネジメントの補佐を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	ー
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
18,719	18,689	18,189	442
18,719	18,689	18,189	442
査定額	説明		
17,689			
500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・市長、副市長の国内外での渉外活動に必要な旅費の確保など、円滑な秘書業務に必要な経費を計上 ・東海市長会通常総会の開催に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業名	20940 東京事務所運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント			
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野			
					目	9	企画費			施策分野			
担当課	市長公室 東京事務所	内線	2406							市長公約			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化を図る。 ・国内外での地場産品の販路拡大、飛騨高山ブランドの強化を図る。	概要	・東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		8,640	7,158	8,740	8,694	7,412
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(職員派遣事業雑入)		866	672	672	672
一般財源		8,640	6,292	8,068	8,022	6,740
新規・拡充	主な事業内容					
	運営費	4,440	2,958	4,540	4,494	3,212
	政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・誘客促進関係 イベントでの誘客PR(4件)、メディアでの情報発信(11件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 新規販路開拓(14件)、販路開拓支援など ・交流促進関係 千代田区相互連携協定に基づく事業調整(6件)、移住相談、在京の飛騨地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(163件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ107回)	
評価等	・職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を活かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能した。 ・政策顧問は、高度な知見を活かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を活かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における「飛騨高山ブランド戦略」等の各種取り組みを推進する。 ・経営資源(人、情報)を効果的に各種施策に活用する。 ・社会的経済活動の本格的な回復を踏まえ、首都圏での活動を積極的に行う。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・誘客促進関係 イベントでの誘客PR(3件)、メディアでの情報発信(14件)、市内旅行事業者の首都圏活動支援など ・物販支援関係 新規販路開拓(17件)、販路開拓支援など ・交流促進関係 千代田区相互連携協定に基づく事業調整(6件)、移住相談、在京の飛騨地域出身者との人脈拡大など ・市担当課業務支援 各課の首都圏業務の支援(131件)、戦略派遣職員の業務支援など ・政策顧問 ブランド戦略・行政改革・地方創生等の重要政策推進に関する市長・関係部署等への指導や助言、人脈の仲介や情報収集など(延べ93回)	
評価等	・職員が東京に駐在することの時間的・場所的な優位性を活かし、市の様々な担当課と連携し主体的かつ機動的に各種営業を行うことで成果を上げるとともに、市担当課の首都圏業務の連絡調整窓口として幅広く機能した。 ・政策顧問は、高度な知見を活かして各種施策に適切な助言を行い、効果的な施策展開を促すとともに、豊富な人脈を活かして国・関係機関・民間との橋渡し役として各種調整を担っていた。	
次年度以降の考え方(担当課)	・東京事務所を拠点とし、首都圏側と地域側双方の多様な主体との連携・協働により、首都圏における飛騨高山ブランドの発信など各種取り組みを推進する。 ・経営資源(人、情報)を効果的に各種施策に活用する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
8,740	8,740	8,740	0
672	672	672	0
8,068	8,068	8,068	0
査定額	説明		
4,540			
4,200			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・東京事務所の円滑な運営に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21020 都市交流促進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画	
					款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり		
					項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 文化・スポーツ・芸術などやりがいの実現を支援します
					目	10	市民活動推進費			施策分野	(6)	交流		
担当課	市長公室 秘書交流課	内線	2414											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国内の姉妹友好都市(長野県松本市、神奈川県平塚市、福井県越前市、山形県上山市)との交流を推進する。	概要	・高山市都市提携委員会を中心とした交流事業の実施
----	--	----	--------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	38.0%	42.8%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,170	1,018	1,140	1,140	1,086	68
特定財源	国費 ()						
	県費 ()						
	その他 ()						
一般財源		1,170	1,018	1,140	1,140	1,086	68
新規・拡充	主な事業内容						
	高山市都市提携委員会の運営に対する助成	900	900	900	900	900	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,140	1,140	1,140	0
1,140	1,140	1,140	0
査定額	説明		
900			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・上山市との友好都市提携35周年を記念した市民ツアーの実施(37人参加) ・越前市への市民ツアーの実施(22人参加) ・平塚市とのこどもスノー交流の実施(平塚市16人、高山市9人参加)
評価等	・友好都市提携35周年を記念した市民ツアーの開催などにより、友好交流を深めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・市民レベルでのまちづくりや経済、文化面等での交流を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・越前市からの市民ツアーの受入(43人来訪) ・平塚市への市民ツアーの実施(36人参加) ・平塚市とのこどもマリン交流の実施(平塚市8人、高山市8人参加)
評価等	・友好都市相互に市民ツアーを開催し、友好交流を深めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・市民レベルでのまちづくりや経済、文化面等での交流を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・姉妹友好都市との交流に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度決算)

事業名	21510 国際交流事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	3	人づくりを支える環境整備	根拠計画			
						款	2	総務費			ポイント	(1)	自分らしく充実して暮らせる環境づくり				
						項	1	総務管理費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流			市長公約	心地よく～暮らす人も訪れる人も心地よいまち～ 住む人と来る人の調和を推進します
						目	16	国際交流費			施策分野	(6)	交流				
担当課	市長公室 秘書交流課			内線	2414												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・異文化への理解を深め、広い視野を持った人材を育成するため、都市間交流の推進や異文化に接する機会の提供などにより、海外との交流を推進する。	概要	・海外の姉妹友好都市等との教育・文化・芸術・産業等の様々な分野における交流や新たな都市間交流の推進 ・市民海外派遣や英語スピーチコンテスト、外国語講座の開催など ・市民と在住・来訪外国人との交流促進 ・国際交流員の招致や海外姉妹友好都市自治体職員研修員の受け入れ、民間交流団体への支援などによる異文化に接する機会の提供
----	---	----	--

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		13,233	8,699	30,139	30,168	26,002	17,303
特定財源	国費 (地方創生推進交付金)	2,400	2,491				△ 2,491
	県費 (多文化共生推進事業費)			550	550	270	270
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、外国青年招致事業雑入 等)	2,470	2,333	5,425	5,525	5,403	3,070
一般財源		8,363	3,875	24,164	24,093	20,329	16,454
新規・拡充	主な事業内容						
○ 1	市民海外派遣			13,800	13,800	13,653	13,653
○ 2	海外友好都市等自治体職員研修受け入れ			6,794	6,823	5,224	5,224
	外国青年国際交流員招致	1,753	932	1,745	1,745	750	△ 182
○ 3	中国・麗江市、昆明市市民ツアーの実施			800	800	0	
	国際交流団体への支援	1,830	1,350	2,430	2,430	1,530	180
○ 4	外国人相談窓口の設置			700	700	349	349
○ 5	多文化共生推進事業			400	400	402	402

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・ペルー・ウルバンバ郡友好都市提携10周年記念式典の開催(ウルバンバ郡訪問) ・アメリカ・デンバー市への市長表敬訪問 ・ベトナム・フエ市、ラオス・ルアンパバーン市、韓国・安東市との伝統工芸や都市交通、文化財などの分野に関する交流 ・外国人医療受入体制(フンストップ医療相談窓口)の運用 ・市民外国語講座の実施(5言語13講座、受講者数270人) ・多文化共生Facebookページ「HIDA TAKAYAMA TOGETHER」の運用 ・外国青年国際交流員(1人)の招致
評価等	・姉妹友好都市等との都市間交流により、友好交流を深めることができた。 ・民間交流団体への支援により、市民が異文化に接する機会を提供することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・姉妹友好都市等との友好交流を推進する。 ・国際理解の高揚を図り、幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成する。 ・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の意識醸成を図る。 ・在住外国人が'安心して働き、生活できる環境を整備するため、外国人相談窓口を設置・運用する。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・フランス・コルマル市との協力協定の締結(更新) ・市民海外派遣事業の実施(アメリカ・デンバー市、中高生20人) ・海外友好都市の自治体職員研修員(2人)の受入 ・外国青年国際交流員(1人)の招致 ・市民外国語・日本語講座の実施(5言語18講座、受講者数327人) ・多文化共生Facebookページ「HIDA TAKAYAMA TOGETHER」の運用 ・外国人相談窓口の設置・運営 ・やさしい日本語講座の開催(2回)
評価等	・姉妹友好都市等との都市間交流により、友好交流を深めることができた。 ・市民海外派遣事業を再開し、中高生を姉妹都市のデンバー市に派遣し、ホームステイなどの体験や交流を通して次代を担う人材を育成することができた。 ・外国人相談窓口を設置し、窓口の周知を行うとともに、在住外国人等の困りごとに寄り添った対応を行うことができた。 ・在住外国人とのコミュニケーションを図るうえで有効とされている「やさしい日本語」についての講座を開催し、「やさしい日本語」の普及と多文化共生意識の醸成を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・姉妹友好都市等との友好交流を推進する。 ・国際理解の高揚を図り、幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成する。 ・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の取り組みを推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
市民の国際交流事業(異文化を体験できる機会)への参加者数(年間)	739人	1,264人	↗
市民外国語講座の受講者数(年間)	270人	327人	↗
ボランティア通訳登録者数	84人	84人	↗
ホストファミリー登録世帯数	80世帯	80世帯	↗
「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	38.0%	42.8%	↗

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	29,305
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
29,532	29,305	29,305	△ 834
415	360	360	△ 190
352	120	2,120	△ 3,305
28,765	28,825	26,825	2,661
査定額	説明		
13,800			
3,317	受け入れ人数の見直し(2名→1名)		
1,838			
1,830			
290			
1,030			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・海外姉妹友好都市等との交流・協力を推進するために必要な経費を計上 ・友好都市職員の研修受け入れに必要な経費を計上 ・多文化共生の推進に必要な経費を計上 ・市民海外派遣や市民ツアーの実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21510 国際交流事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	秘書交流課
			☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 市民海外派遣事業		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
			☐			目	16	国際交流費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・国際理解の高揚を図り、幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成する。	概要	・英語スピーチコンテストの上位入賞者の中学生・高校生を姉妹都市であるアメリカ・デンバー市へ派遣する。
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

予算額	当初	13,800
主な経費	・渡航費用の助成(補助金)等	
対前年度増減額(当初予算)		13,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

予算額	当初	13,800
	繰越	
	補正等	
	最終	13,800
決算額		13,653
対前年度増減額(決算)		13,653

R7当初予算(Action)

予算額	当初	13,800
主な経費	・渡航費用の助成(補助金)等	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・英語スピーチコンテストによる上位入賞者(中・高校生)の中から派遣者を決定し、事前にオリエンテーション等を行い、アメリカ・デンバー市への派遣を実施する。	
[スケジュール]	
・5月頃 英語スピーチコンテストの開催 ・6月頃 派遣者の決定 ・8月上旬 派遣実施	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・英語スピーチコンテストによる上位入賞者(中・高校生)の中から派遣者を決定し、事前にオリエンテーション等を行い、アメリカ・デンバー市への派遣を実施した。 ＜実施結果＞ ・派遣者: 中学生17人、高校生3人 ・派遣期間: 令和6年8月8日～14日 ・派遣先: アメリカ・デンバー市		
[評価等]		
・ホームステイなどの体験やデンバー市の人々との交流を通して、中高生にとって異文化への理解を深める貴重な機会となり、次代を担う国際人の育成に向けた取り組みを行うことができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・幅広い知識を持った国際人及び次代を担う人材を育成するため、引き続き、市民海外派遣事業を実施する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・英語スピーチコンテストによる上位入賞者(中・高校生)の中から派遣者を決定し、事前にオリエンテーション等を行い、アメリカ・デンバー市への派遣を実施する。	
[スケジュール]	
・5月24日 英語スピーチコンテストの開催 ・6月上旬 派遣者の決定 ・8月7日～13日 派遣実施	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21510	国際交流事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	秘書交流課
				☒ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	2	海外友好都市等自治体職員研修受け入れ		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
				☐			目	16	国際交流費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・友好都市等の自治体職員等を研修員として受け入れ、国際交流及び多文化共生の推進を図る。	概要	・ペルー・ウルバンバ郡から1人、中国・麗江市から1人を受け入れ、市の業務を学ぶ機会を提供する。 ・研修員と市職員、市民の交流を図る。
----	---	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

予算額	当初	6,794
主な経費	・研修員受入に係る旅費、住居費、負担金等	
対前年度増減額(当初予算)		6,794

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

予算額	当初	6,794
	繰越	
	補正等	29
	最終	6,823
決算額		5,224
対前年度増減額(決算)		5,224

R7当初予算(Action)

予算額	当初	3,317
主な経費	・研修員受入に係る旅費、住居費、負担金等	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,477

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・海外友好都市(中国・麗江市、ペルー・ウルバンバ郡)からの研修員の受入を交互に隔年での実施へ見直す。(年間2人から1人へ)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21510	国際交流事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	秘書交流課
				☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	3	中国・麗江市、昆明市市民ツアーの実施		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
				☐			目	16	国際交流費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・海外の友好都市への市民ツアーを開催し、市民の交流を促進する。	概要	・中国・麗江市、昆明市への市民ツアーを実施する。
----	---------------------------------	----	--------------------------

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)		
予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)		
予算額	当初	800
主な経費	・市民ツアー参加者への助成(補助金)等	
対前年度増減額(当初予算)		800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)		
予算額	当初	800
	繰越	
	補正等	
	最終	800
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R7当初予算(Action)

(千円)		
予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・友好都市(中国・麗江市、昆明市)への市民ツアーを実施し、参加者の旅費に係る費用の一部を助成する。	
[スケジュール] ・時期調整中 市民ツアーの参加者募集 ・時期調整中 市民ツアーの実施	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・実施を見送った。 <理由> ・中国訪問にあたっては、当初ビザの取得が必要であったが、令和5年12月からフランスなど6ヶ国がビザ免除になったため、日本も同様の措置が行われることを想定していたが、日本に対するビザ免除がなかなか行われなかった。 ・そのため、中国訪問にあたって市民がビザを取得するための煩雑な手続きや費用が必要であることなどを踏まえ、市民ツアーの実施を見送ることとした。 [評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	・麗江市及び昆明市と今後の市民交流について検討していく。 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21510 国際交流事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	秘書交流課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	4 外国人相談窓口の設置		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
			☐			目	16	国際交流費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・在住外国人が安心して働き、生活できるように、気軽に相談できる環境整備を行う。	概要	・外国人相談窓口を設置し、多言語対応のタブレット端末を導入することにより、在住外国人が相談できる体制を整える。
----	---	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

		(千円)
予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

		(千円)
予算額	当初	700
主な経費	・タブレット端末、翻訳アプリの導入	
対前年度増減額(当初予算)		700

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

		(千円)
予算額	当初	700
	繰越	
	補正等	
	最終	700
決算額		349
対前年度増減額(決算)		349

R7当初予算(Action)

		(千円)
予算額	当初	290
主な経費	・翻訳アプリの利用料	
対前年度増減額(当初予算)		△ 410

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・秘書交流課内に外国人相談窓口を設置する。 ・多言語翻訳アプリを導入したタブレット端末を活用し、在住外国人からの相談を受ける体制を整える。	
[スケジュール]	
R.6.4～ 外国人相談窓口設置、運用開始 R6.4～ タブレット端末、翻訳アプリの導入	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・秘書交流課内に外国人相談窓口を設置した。(R6.4～) ・多言語翻訳アプリを導入したタブレット端末などを活用しながら、在住外国人の困りごとについて相談対応を行った。(相談件数71件)	
[評価等]	
・外国人相談窓口を設置し、窓口について周知を行うとともに、在住外国人の困りごとや悩みなどに寄り添った対応を行うことができた。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・多言語翻訳アプリを導入したタブレット端末などを活用しながら、在住外国人の困りごとについて相談対応を行う。	
[スケジュール]	
R7.4～ 外国人相談窓口の周知、相談対応	

主要事業個票(令和6年度決算)

事業名	21510	国際交流事業費	区分	☒ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	秘書交流課
				☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	5	多文化共生推進事業		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2414
				☐			目	16	国際交流費	作成年月	R7.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・多様な文化や異なった価値観への理解を深めるとともに、市民と在住外国人が地域で共に暮らし活躍できるよう多文化共生の推進を図る。	概要	・多文化共生社会の実現に向け、市民と在住外国人とが互いに分かり合えるような機会(講座等)を提供する。
----	---	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点

(千円)		
予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点

(千円)		
予算額	当初	400
主な経費	・講座開催委託料	
対前年度増減額(当初予算)		400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点

(千円)		
予算額	当初	400
	繰越	
	補正等	
	最終	400
決算額		402
対前年度増減額(決算)		402

R7当初予算(Action)

(千円)		
予算額	当初	1,030
主な経費	・市内在住外国人向け生活オリエンテーション動画の制作等委託料 530 ・「やさしい日本語講座」開催委託料等 500	
対前年度増減額(当初予算)		630

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・在住外国人と接することが多い市内事業所等を対象に「やさしい日本語講座」を開催する。(年2回程度)	
[スケジュール]	
R6.4～ 前期:「やさしい日本語講座」参加者募集、講座実施 R6.10～ 後期:「やさしい日本語講座」参加者募集、講座実施	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・在住外国人と接することが多い市内事業所等を対象に「やさしい日本語講座」を開催した。(2回)		
(1回目) ・令和6年7月27日 参加者:37人(内外国人8人) (2回目) ・令和6年12月1日 参加者:19人(内外国人7人)		
[評価等]		
・在住外国人とのコミュニケーションを図るうえで有効とされている「やさしい日本語」についての講座を開催し、「やさしい日本語」の普及と多文化共生意識の醸成を図ることができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・国籍や民族などの異なる人々が互いの文化を認め合い、理解を深めながら共存できるよう多文化共生の取り組みを推進する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・市内在住外国人向け生活オリエンテーション動画の制作 ・市内在住外国人及び関係者等による座談会の開催 ・「やさしい日本語講座」の開催	
[スケジュール]	
・R7.5～ 「やさしい日本語講座」の開催(年2回) ・R7.6～ 市内在住外国人向け生活オリエンテーション動画の制作 ・R7.6～ 市内在住外国人及び関係者等による座談会の開催 (年5回程度)	